

伊豆諸島御蔵島周辺海域で観察されたアオウミガメによるクラゲ捕食

A green turtle (*Chelonia mydas*) feeding on a jellyfish around Mikura Island, Tokyo, Japan

森阪匡通・酒井麻衣・小木万布・久保田 信・亀崎直樹

Tadamichi MORISAKA, Mai SAKAI, Kazunobu KOGI, Shin KUBOTA
and Naoki KAMEZAKI

アオウミガメ (*Chelonia mydas*) は主に海草や海藻を摂食するが、カイメンなどの動物の捕食の報告も存在する (Department of Sustainability, Environment, Water, Population and Communities, 2011)。しかしながら、こうした動物食の記録は非常に少ないのが現状であり、ウミガメが捕食していた生物の知見を蓄積していくことは重要なことである。

今回、他生物の調査中に観察された、アオウミガメの他動物の捕食を報告する。2011年9月15日、ミナミハンドウイルカ (*Tursiops aduncus*) の個体識別調査のため、イルカウォッチング船である広栄丸 (廣瀬正一船長) で東京都の御蔵島港を出港し、イルカを発見次第入水して、イルカの撮影をビデオカメラにて行った。撮影はSeatool社製水中ハウジング内に納めたSONY HDR-XR550Vデジタルビデオを用いて行った。イルカを撮影中にアオウミガメが近く (水深約5m) にいたため、撮影を試みていたところ、急に進路を右に変更した。前方に全長1.5m程度の管クラゲ類と同定される生物が浮遊しているのが確認され、それに向かって少しジグザグを描くように近づき、捕食した (図1)。観察者は接近を試みたが、それに驚いてアオウミガメが逃げたため、餌生物は変形してしまった (図2)。撮影は10時40分、御蔵島東 (N33° 52' ; E139° 38') にて行い、水温は28.6℃、水深は17 mであった。ビデオ映像からクラゲの種の同定を試みたところ、ボウズニラ (*Rhizophysa eysenhardti*) である可能性が極めて高いことがわかった。

また、アオウミガメが撮影者に気づいてからの逃避行動が極めて素早いことが動画から確認できた。ウミガメ類が人に反応して逃避するのは、かつての八重山諸島など潜水漁でウミガメを捕獲する場所で顕著に観察されるものである。しかし、御蔵島ではその漁が行われていない。また、これまでハンドウイルカがアオウミガメに干渉していることが観察されていることから、

御蔵島周辺に生息するアオウミガメは、イルカによって、他の動物が接近することに対する感受性が高まっていることが予想された。

本研究は科学研究費助成金基盤研究 (S) #23220006 (森阪)、科学研究費助成金若手研究 (B) #23700308 (酒井) および平成23年度笹川科学研究助成 (酒井) を一部用いて行われた。



図1. 御蔵島周辺でアオウミガメがクラゲを捕食中

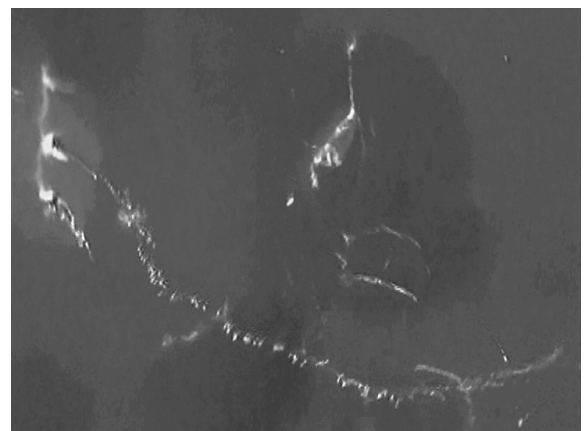


図2. ボウズニラと同定された餌生物

森阪（京大野生動物研セ）
酒井（東大生命科学NW）
小木（御蔵島観光協会）
久保田（京大フィールド研セ）
亀崎（日本ウミガメ協・須磨水）

Department of Sustainability, Environment,
Water, Population and Communities (2011).
Chelonia mydas in Species Profile and
Threats Database, Department of
Sustainability, Environment, Water,
Population and Communities, Canberra.
Available from:
<http://www.environment.gov.au/sprat>.
Accessed Thu, 22 Sep 2011 16:41:02 +1000.